

## ドイツ語 (初級 B) 第 18 回 動詞の 3 基本形

\* 授業の進み方は教科書の順序とやや異なる。シラバスも参照。

範囲: 教科書第 11 課 A (S. 43-45)

### 《今回の基本例文》

なし

## I 動詞の 3 基本形: 不定詞、過去基本形、過去分詞

### A. 動詞の 3 基本形 (S. 43)

#### ■ 動詞の 3 基本形とは

**動詞の 3 基本形 = 不定詞・過去基本形・過去分詞**

\* 英語における原形、過去形、過去分詞の 3 つと同じ。

◇ 3 基本形の役割は、ほぼ英語と同じと考えてよい。今学期はこれらを中心に学んで行く。

・不定詞: 話法の助動詞やそれに準ずる動詞と併用 (すでに学習した)、

未来形に使用 (⇒教科書第 12 課)、zu 不定詞として使用 (教科書第 16 課)

\* すでに学習したように、英語でいう原形のことをドイツ語では不定詞と呼ぶ。

・過去基本形: 過去形 (⇒教科書第 12 課) に使用

\* 現在形と同じく過去形も人称変化するため、1 人称単数のかたちを過去基本形と呼んでいる。過去形の人称変化については教科書第 12 課で扱う。

・過去分詞: 現在完了形、過去完了形 (⇒教科書第 12 課)、受動態 (⇒教科書 14 課) に使用、形容詞として (⇒教科書第 11 課) 使用

◇ 3 基本形のつくり方には、やはり規則変化と不規則変化があり、規則変化を**弱変化**と呼び、不規則変化を**強変化**と**混合変化**に分ける。sein、haben、werden も不規則変化だが、これらとは別枠と考える。

規則変化 = 弱変化  
不規則変化 ⊃ 強変化  
                  └ 混合変化  
                  └ sein, haben, werden

#### 1 規則変化動詞 (弱変化動詞)

《規則動詞 = 弱変化動詞の 3 基本形》

不定詞: 語幹 + en / n

過去基本形: 語幹 + te

過去分詞: ge + 語幹 + t

・英語と異なり、過去分詞に**接頭辞 ge-**がつくところに注意。

\* 復習をすると、語幹は不定詞から -en もしくは -n を除いたかたち。lernen なら lern、ändern なら änder。

- ◇ 弱変化動詞は完全な規則変化なので、規則だけ覚えればよい。
  - hören の3基本形: hören - hörte - gehört (←語幹が hör)
  - ändern の3基本形: ändern - änderte - geändert (←語幹が änder)

\* こうした語尾が-enではなく-nの動詞も、考え方は同じ。
- ◇ 語幹が-tや-dで終わるもの(教科書S.9のarbeiten型)については、例えばarbeitenを例にとると、単に語幹+teだと\*arbeiteや\*gearbeittとなって発音しづらいため、語調を整えるeを挿入し、
  - arbeiten の3基本形: arbeiten - arbeitete - gearbeitetとする。日本語の感覚だと過去基本形が-teteとなるのは奇妙に感じるかもしれないが、これで正しい。

### 練習1

次の動詞の3基本形を答えよ (すべて教科書既出の規則動詞)。

1. lernen \_\_\_\_\_
2. lieben \_\_\_\_\_
3. kaufen \_\_\_\_\_
4. küssen \_\_\_\_\_
5. tanzen \_\_\_\_\_
6. legen \_\_\_\_\_
7. machen \_\_\_\_\_
8. stellen \_\_\_\_\_
9. reisen \_\_\_\_\_
10. waschen \_\_\_\_\_
11. kosten \_\_\_\_\_
12. antworten \_\_\_\_\_
13. angeln \_\_\_\_\_
14. wandern \_\_\_\_\_

## 2 不規則変化動詞

- ◇ 以下、本日の別紙「**不規則変化動詞のまとめ**」も参照。
- ◇ a) **強変化動詞**は、
  - 語幹の母音を変化させて語尾を加えないかたちを過去基本形、語幹の母音を変化させて語頭に ge-、語尾に -en を加えたかたちを過去分詞とする。語幹の母音のみならず子音も変化するものもある。

### 《不規則変化動詞の1つ、強変化動詞の3基本形》

不定詞: 語幹 + en/n

過去基本形: ○○

過去分詞: ge + XX + en

• ○○やXXは語幹と同じではない場合がほとんどで、要するに完全な不規則変化。

• これらに関しては、遺憾ながら丸暗記するしかない。

\* 英語で  *speak - spoke - spoken...* などと唱えて覚えたのと同じ。

◇ b) **混合変化動詞**は、

- ・語幹の母音を変化させて語尾-te を加えたかたちを過去基本形、語幹の母音を変化させて語頭に ge-、語尾に-t を加えたかたちを過去分詞とする。

**《不規則変化動詞の 1 つ、混合変化動詞の 3 基本形》**

不定詞：語幹 + en

過去基本形：○○ + te

過去分詞：ge + ○○ + t

- ・語幹が○○に変化する点で強変化と同じ、過去基本形の語尾が-te で過去分詞の語頭と語尾がそれぞれ ge-, -t という点で弱変化と同じなので、混合変化と呼んでいる。

・混合変化動詞の数は少なく、全部で 9 種類しかない。ただし、6 種類ある話法の助動詞は基本的に混合変化であり、それを加えると 15 種類になる。(⇒教科書 S. 48)

◇ c) **sein, haben, werden** については、教科書 S. 44 の表のまま覚える。

- ・sein の 3 基本形：**sein - war - gewesen**
- ・haben の 3 基本形：**haben - hatte - gehabt**
- ・werden の 3 基本形：**werden - wurde - geworden**

\* これらは分類不可能だが、sein と werden は強変化に、haben は混合変化に近いといつてよい。

◇ 不規則変化動詞の 3 基本形は、教科書や辞書の巻末の変化表に記載されている。不規則動詞は全部で 200 個弱あるとされるが、教科書の変化表にあるのは 125 個で、そのうち 50 個が緑地になっている。この授業では、その緑地の 50 動詞を中心に覚えてもらう。

\* 変化表では、教科書第 3 課 A で学んだ a → ä 型や e → i/e 型のような、不規則な現在人称変化についても記載されている。

**3 分離動詞の 3 基本形** **4. 過去分詞の形態についての注意** (S. 44)

◇ 分離動詞および非分離動詞の過去基本形、過去分詞は、基礎動詞(前綴りをとった動詞本体)をもとにつくる。基本公式は以下の通り。

分離動詞 ⊥ 過去基本形： **基礎動詞の過去基本形 前綴り**

|

\* 前綴りは分離して書く。abreisen → reiste ab など。

└

過去分詞： **前綴り + 基礎動詞の過去分詞**

非分離動詞 ⊥ 過去基本形： **前綴り + 基礎動詞の過去基本形**

└

過去分詞： **前綴り - ge + 基礎動詞の過去分詞**

\* 要するに、非分離動詞の過去分詞には ge-がつかない。

◇ 分離動詞や非分離動詞の 3 基本形に関しては、次のような回路で考えればよい。

- ・分離動詞 ab|reisen は、ab が前綴り、reisen が基礎動詞である。
- reisen は規則変化動詞なので、3 基本形は reisen - reiste - gereist である。
- よって、上の基本公式から、abreisen の 3 基本形は abreisen - reiste ab - abgereist。
- ・分離動詞 an|fangen は、an が前綴り、fangen が基礎動詞である。
- fangen は不規則変化動詞、3 基本形は anfangen - fing - gefangen (巻末の変化表を参照)。
- よって、上の基本公式から、anfangen の 3 基本形は fangen - fing an - angefangen。

・非分離動詞 *verstehen* は、*ver-*が前綴り、*stehen* が基礎動詞である。

→ *stehen* は不規則動詞、3 基本形は *stehen - stand - gestanden* (巻末の変化表を参照)。

→ よって、上の基本公式から、*verstehen* の 3 基本形は *verstehen - verstand - verstanden*。

◇ *beginnen* の基礎動詞である *ginnen* は、いまは使われておらず辞書にも掲載されていないが、過去にはきちんと存在していた。このため、*beginnen* も非分離動詞であり、過去分詞には *ge-*がつかず *begonnen* となる。ほか *vergessen*、*verlieren* などが似た事例。

◇ 外来語に由来する **ieren 型動詞** (*-ieren* で終わる動詞) も、過去分詞に *ge-*がつかない。

## 練習 2

次の動詞の 3 基本形を答えよ (教科書既出ではない動詞には意味を付す)。

1. aus|füllen \_\_\_\_\_ (vt. ~を閉める)
2. zu|machen \_\_\_\_\_ (vt. ~を閉める)
3. auf|stehen \_\_\_\_\_
4. an|rufen \_\_\_\_\_
5. mit|bringen \_\_\_\_\_
6. zurück|geben \_\_\_\_\_
7. begegnen \_\_\_\_\_
8. vereinigen \_\_\_\_\_ (vt. ~を統一する)
9. bedauern \_\_\_\_\_
10. bekommen \_\_\_\_\_ (vt. ~を得る、=*get*)
11. entsprechen \_\_\_\_\_ (vi. 〈3 格〉に対応する)
12. produzieren \_\_\_\_\_ (vt. ~を生産する)

## 練習問題の補足

### Übung 1 (S. 45)

6~8, 10~12. 分離動詞や非分離動詞の 3 基本形については、まず不定詞から前綴りを除いて基礎動詞を摘出して考える。*gefallen* (非分離動詞) なら *fallen*、*an|schauen* なら *schauen* の 3 基本形を書き出してみ、そこに **3** や **4** の要領で前綴りを加え直す。

9. *vergessen* については、過去分詞は非分離動詞に準ずる。

### Übung 2 (S. 45)

2. 前綴りの *voll-* は、分離動詞の前綴りである場合と非分離動詞の前綴りである場合の両方がある。この *vollenden* は後者。

4, 6, 9, 10. やはり分離動詞および非分離動詞の問題なので、上記 Übung 1 の 6~8, 10~12 の要領で考えること。

## 連絡先など

教員のメールアドレス: [tokan@nifty.com](mailto:tokan@nifty.com) 授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり): <http://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>